

浄水発生土の処分・利用等の状況調査について（7月12日時点）

○調査概要

- ・6月16日に原子力災害対策本部より示された「上下水処理等副次産物の当面の取扱いに関する考え方」（以下「考え方」という。）を通知した14都県*を対象に、浄水発生土の処分・利用等の状況を厚生労働省において調査

※宮城県、山形県、福島県、新潟県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、千葉県、長野県、山梨県、静岡県

- ・調査対象期間は、6月16日（「考え方」発出）～7月12日

○調査結果

1. 放射性物質濃度ごとの浄水発生土の状況

- ・放射性物質の濃度を測定した浄水発生土のうち、約3%が10万Bq/kg以下8千Bq/kg超、約69%が8千Bq/kg以下100Bq/kg超、約28%が100Bq/kg以下（表1、図1参照）

2. 浄水発生土の処分、再利用等の状況

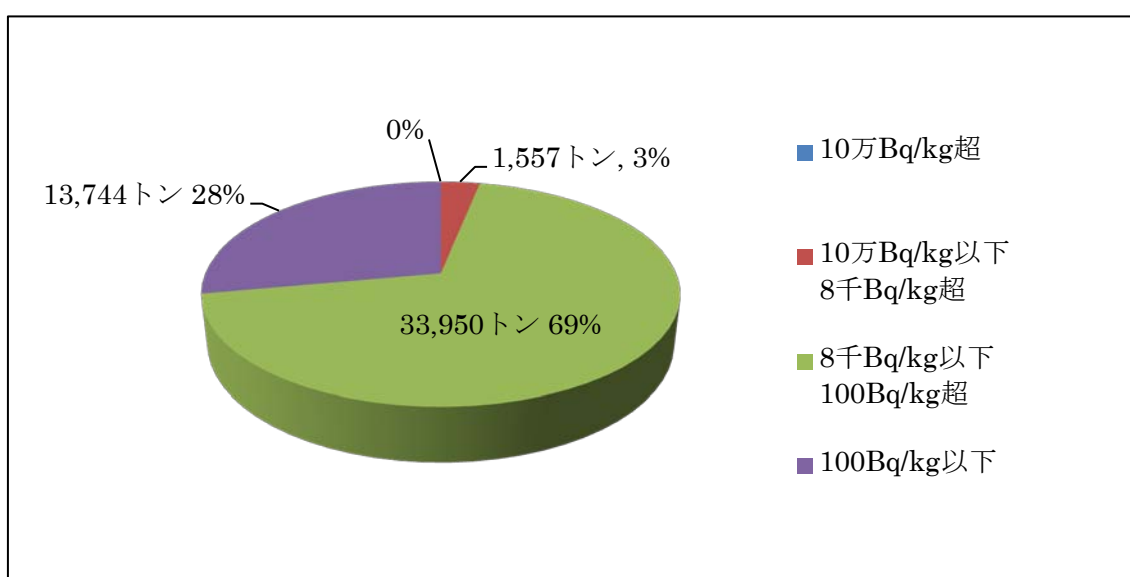
- ・放射性物質の濃度を測定した浄水発生土について処分方法別に集計
- ・東京都、長野県、静岡県を除く11県では、放射能濃度を測定後、保管している量が多い（表2、図2参照）
- ・一部で再利用（セメント利用、建設改良土など）を実施
- ・放射性物質量を測定し、保管している浄水発生土については、その多くの処分先が未定（図3参照）

＜表 1：浄水発生土中の放射性物質濃度の状況（都道府県別）＞

	10万 Bq/kg超	10万Bq/kg以下 8千Bq/kg超	8千Bq/kg以下 100Bq/kg超	100Bq/kg 以下	計	未測定保 管量
宮城県	0	505	2,068	3,068	5,641	2,798
山形県	0	0	0	85	85	10,341
福島県	0	530	1,169	104	1,803	2,467
新潟県	0	293	3,240	5,072	8,605	1,732
茨城県	0	0	756	27	783	5,616
栃木県	0	123	633	286	1,042	2
群馬県	0	106	772	209	1,087	859
埼玉県	0	0	11,020	383	11,402	174
東京都	0	0	6,912	0	6,912	571
神奈川県	0	0	2,078	2,094	4,172	2,173
千葉県	0	0	5,253	1,535	6,788	7,341
長野県	0	0	0	80	80	11,167
山梨県	0	0	0	764	764	983
静岡県	0	0	50	37	87	8,409
計	0	1,557	33,950	13,744	49,250	54,631

(単位：すべてトン)

※浄水発生土の量については、搬出時の状態での報告を求めたが、一部、脱水・乾燥前の状態での報告もある。

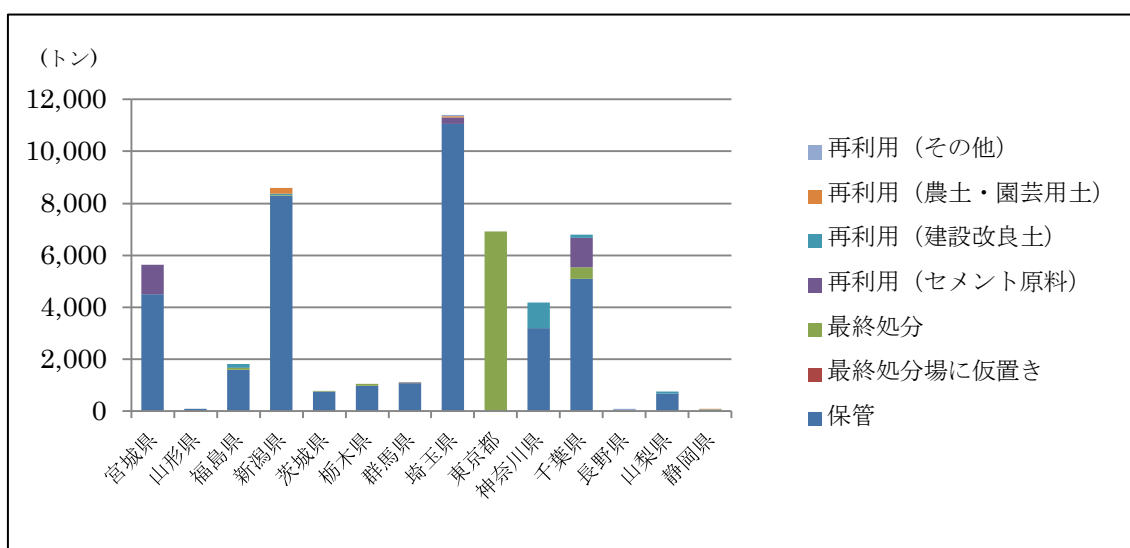


＜図 1：浄水発生土中の放射性物質濃度の状況（合計）＞

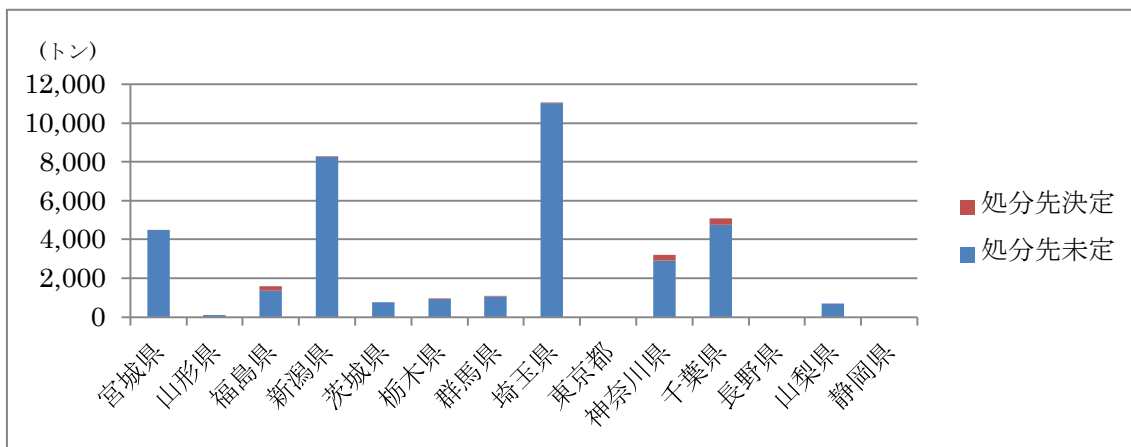
<表 2：浄水発生土の処分、再利用等の状況（都道府県別）>

処分等の方法	浄水場等に保管	(うち処分先決定)	管理型処分場に仮置き	埋立処分	再利用(セメント原料)	再利用(建設改良土)	再利用(農土・園芸用土)	再利用(その他)	計
山形県	85	(0)	0	0	0	0	0	0	85
福島県	1,581	(234)	0	84	0	138	0	0	1,803
新潟県	8,292	(30)	0	40	0	50	223	0	8,605
茨城県	757	(0)	0	26	0	0	0	0	783
栃木県	965	(37)	0	77	0	0	0	0	1,042
群馬県	1,077	(15)	0	1	9	0	0	0	1,087
埼玉県	11,064	(30)	0	0	229	0	70	39	11,402
東京都	0	(0)	0	6,912	0	0	0	0	6,912
神奈川県	3,195	(279)	0	0	0	977	0	0	4,172
千葉県	5,090	(328)	0	458	1,130	110	0	0	6,788
長野県	0	(0)	0	0	0	0	0	80	80
山梨県	690	(0)	0	0	0	74	0	0	764
静岡県	0	(0)	0	13	0	50	24	0	87
計	37,286	(953)	0	7,611	2,518	1,399	317	119	49,250

(単位：すべてトン)



<図 2：浄水発生土の処分、再利用等の状況（都道府県別）>



< 図 3 : 放射性物質測定後の浄水発生土の保管状況 (都道府県別) >